



## 中野 晴啓からのメッセージ

なかのアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 中野 晴啓

「なかの号」は出発から2か月進みました。世界の株式市場はおしなべて高値圏内での揉みあいが続いています。相変わらず世界的にインフレ傾向は粘着的で、欧州はいったん利下げしたものの、此の先はインフレ水準を睨んで政策金利を暫し維持するでしょう。

米国も利下げはおそらくまだ先のことで、大きく実質金利がマイナスの日本と米欧の金利差は縮まぬ見込みのまま、ジリジリ円安が進んでしまい、歴史的な円の価値下落と言っているでしょう。他方日本が対外純資産大国であることに変わりなく、今の円の通貨水準は一時期よりずっと3割近く安くなっていると捉えるならば、いずれその訂正は想起しておく必要があるかも知れません。

総じてグローバルな株式市場の動向は、ここから先進諸国の金融政策如何に大きく左右され、為替のトレンドも同様に、市場の複合的影響による転換を想定しておく必要がありそうです。

そして産業界の変化に対する評価はそこから先が問われ、インフレ常態化の中で、一層成長する力が発揮出来る強い企業を厳選して行くのが「なかの世界成長F」です。世界のグッドカンパニーの凄さを実感しながら、長期投資の旅をゆったりのんびりと一緒に愉しんで資産を育ててまいりましょう！

## ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンドは長期投資を前提として、厳選した銘柄に投資をします。それは、株式市場は定期的に不安定な時期を迎え、世界中の企業はその度に試練に見舞われるからです。そして、当ファンドに組み入れられている「質の高い成長企業」はそんな試練を逆にチャンスにしてさらなる成長を遂げてゆくと考えています。

企業が成長しようとする意欲やその戦略は、長期的に見れば経済や政治情勢にあまり左右されません。すぐれた企業は時代に合わせてその姿を変え、社会に必要な存在であり続けることができると我々は考えています。

そして、すぐれた企業は世界各地に存在し、特にこれから経済成長が続くであろうインドなどのグローバルサウスと呼ばれる地域の経済成長から恩恵を受ける企業が有望であると考えています。そのため、時価総額で大きな米国企業のみならず、こうした地域の企業にも投資をすることが長期的には重要であると、なかの世界成長ファンドでは考えております。

6月のなかの世界成長ファンドの基準価額は海外株式市場の上昇と円安の影響もあり、地域分散を進めながら堅調な推移となりました。今後ともなかの世界成長ファンドをご愛顧いただきますようよろしくお願い致します。

なかの世界成長ファンド  
ポートフォリオマネージャー  
居林 通

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

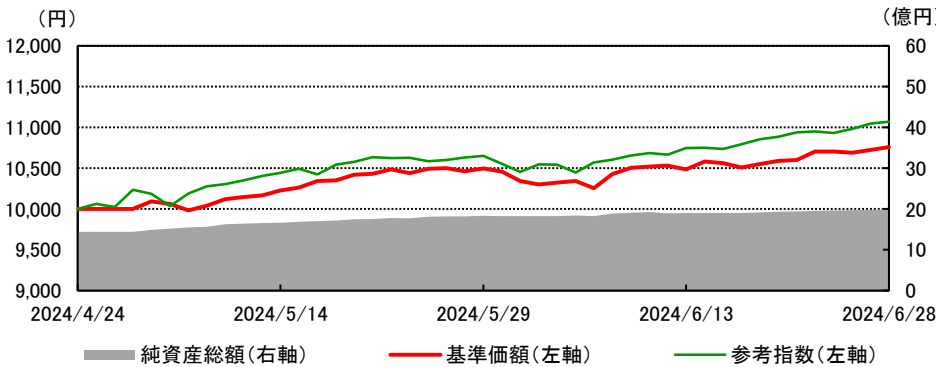
設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
ホームページ: <https://nakano-am.co.jp/>



なかの世界成長ファンドの基準価額は、おおむね堅調に推移しております。5月末と比較すると、新興国の割合がやや増加いたしました。現在のところ、米国景気が大きく後退するリスクは少ないと考えており、当面はこのまま厳選した銘柄を保有してゆきたいと考えております。

一方で、円安も当ファンドの基準価額の上昇に寄与しております。円安については、今月のコラムに見解をまとめましたので、後半のページをご覧ください。今後も、なかの世界成長ファンドをご愛顧頂きますようよろしくお願い致します。

## ●基準価額及び純資産総額の推移(2024年6月末現在)



|         |
|---------|
| 基準価額    |
| 10,759円 |
| 純資産総額   |
| 20億円    |

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。  
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。  
 ※ 純資産総額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## ●騰落率

|       | 1ヶ月  | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来   |
|-------|------|-----|-----|----|----|----|-------|
| 当ファンド | 4.0% | -   | -   | -  | -  | -  | 7.6%  |
| 参考指数  | 5.9% | -   | -   | -  | -  | -  | 10.7% |

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## ●分配金実績(一万口当たり、税引前)

| 決算期 | - | - | - | 設定来合計 |
|-----|---|---|---|-------|
| 分配金 | - | - | - | -     |

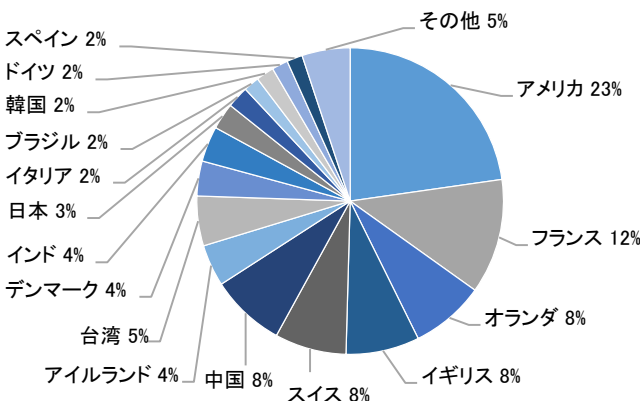
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

## ●基準価額の変動要因(前月末比)

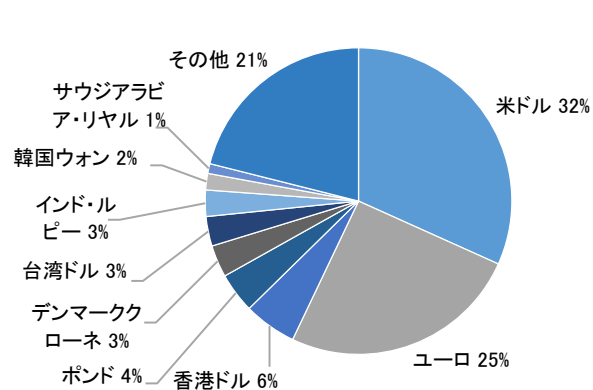
| 基準価額の変動額  | 417円 |
|---|------|
| ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インバクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て) | 17円  |
| コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)                               | 195円 |
| コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)                          | 77円  |
| アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)                 | 174円 |
| アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ                 | -    |
| 信託報酬・その他  | -46円 |

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ※ 項目ごとに円未満は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

## ●国・地域別株式比率



## ●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年5月31日のデータをもとに6月28日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。  
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



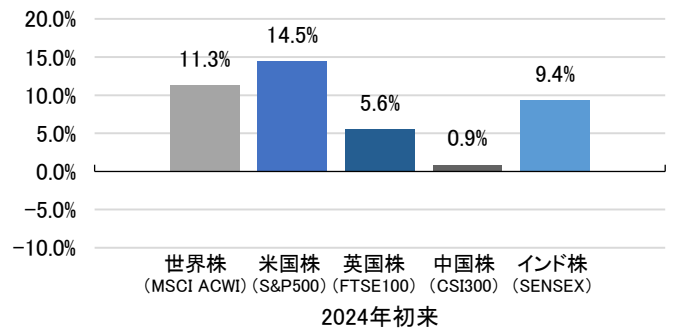
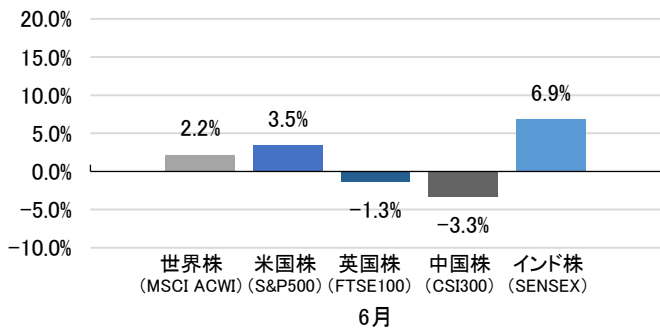
●組入ファンドの概要

|   | 銘柄名   | 運用会社  | 組入比率  |
|---|---|---|-------|
|   |   | ファンド概要  |       |
| 1 | コムジェスト世界株式ファンド<br>(適格機関投資家限定)                                   | コムジェスト・アセットマネジメント株式会社                                       | 37.1% |
|   |   | 世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。    |       |
| 2 | コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90<br>(適格機関投資家限定)                              | コムジェスト・アセットマネジメント株式会社                                       | 32.6% |
|   |   | 主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。  |       |
| 3 | アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)                         | アライアンス・バーンスタイン株式会社  | 22.3% |
|   |   | 新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。       |       |
| 4 | ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV<br>ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド<br>(クラスS、円建て) | ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド                                 | 7.9%  |
|   |   | 主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。 |       |
|   | 現金等   |   | 0.2%  |

ファンドとの対話を続け、ファンドの入れ替え、ウェイトの調整などを行ってまいります。

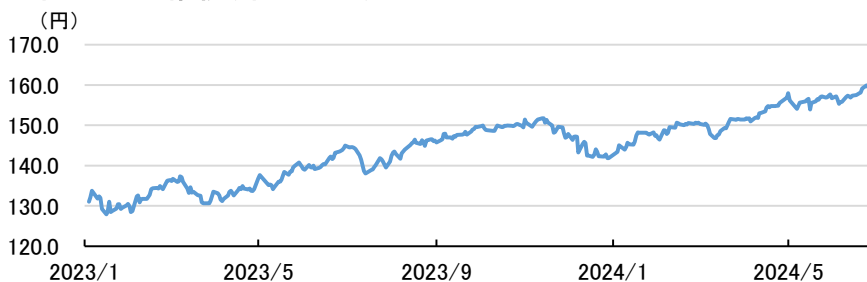
<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ●各ファンドの組入上位5銘柄

## コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

| No. | 銘柄名              | 国    | 業種    | 組入比率 |
|-----|------------------|------|-------|------|
| 1   | イーライリリー          | アメリカ | ヘルスケア | 7.4% |
| 2   | マイクロソフト          | アメリカ | 情報技術  | 7.0% |
| 3   | ASMLホールディング      | オランダ | 情報技術  | 6.0% |
| 4   | 台湾セミコンダクター(TSMC) | 台湾   | 情報技術  | 4.7% |
| 5   | リンデ              | イギリス | 素材    | 4.1% |

## コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

| No. | 銘柄名           | 国     | 業種       | 組入比率 |
|-----|---------------|-------|----------|------|
| 1   | ノボ・ノルディスク     | デンマーク | ヘルスケア    | 8.5% |
| 2   | ASMLホールディング   | オランダ  | 情報技術     | 8.5% |
| 3   | エシロールルックスオティカ | フランス  | ヘルスケア    | 4.9% |
| 4   | エクスペリアン       | イギリス  | 資本財・サービス | 4.5% |
| 5   | リンデ           | イギリス  | 素材       | 4.1% |

## アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

| No. | 銘柄名            | 国   | 業種             | 組入比率 |
|-----|----------------|-----|----------------|------|
| 1   | 台湾セミコンダクター     | 台湾  | 情報技術           | 8.7% |
| 2   | テンセント・ホールディングス | 中国  | コミュニケーション・サービス | 5.9% |
| 3   | サムスン電子         | 韓国  | 情報技術           | 5.4% |
| 4   | HDFC銀行         | インド | 金融             | 3.9% |
| 5   | SKハイニックス       | 韓国  | 情報技術           | 3.3% |

## ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

| No. | 銘柄名                    | 国    | 業種       | 組入比率 |
|-----|------------------------|------|----------|------|
| 1   | ELI LILLY & CO         | 米国   | 医薬       | 3.3% |
| 2   | ASML HOLDING NV        | オランダ | 半導体      | 2.8% |
| 3   | ROPER TECHNOLOGIES INC | 米国   | 工業       | 2.8% |
| 4   | UNITEDHEALTH GROUP INC | 米国   | ヘルスケア    | 2.7% |
| 5   | DANAHER                | 米国   | ライフサイエンス | 2.3% |

※ 上記はデータが入手できる2024年5月31日現在の情報です。

※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ～コラム～

### この円安水準で海外株に投資するのは怖い？

なかの世界成長ファンドは、海外の株式に投資するファンドですが基本的に為替ヘッジを行いません。そのため、円安になれば基準価額の上昇要因になりますが、円高になれば下落要因となります。

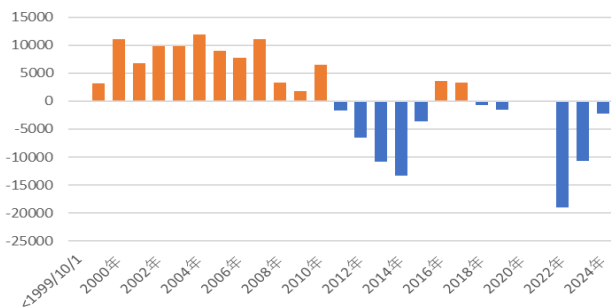
さて、ドル円で見るとすでに160円を超えた円安水準でここから投資に踏み切ると、円高になるリスクがあるとお考えになるお客様も多いかと思えます。それは確かに否定はできません。しかし、なかのアセットでは現在の円安水準は、主として「米国の高金利」と「日本の貿易収支の赤字」という二つの大きな要因によって支えられていると考えているので、急激な円高水準にはなりにくいと考えています。

確かに、今年後半から来年にかけて米国や欧州などで政策金利の引き下げが行われると見られますが、日本の政策金利がここから引き上げられたとしても0.5%程度までにとどまり、依然として海外の主要な国の政策金利とは3-4%という大きな差が残ると見ます。日本の家計は現預金の比率が非常に高いため(下段右側のスライドを参照)その金利差を享受するために日本から海外資産に向けての投資はこれからも続くと考えています。これも、現在の円安水準が続くと考える一つの根拠となっています。

また、世界の新興国の生活水準が日本に近づいてきていることから、世界の市場に資産の一部を振り向け、長期的な成長の恩恵を受けることは理にかなった投資戦略であると考えています。

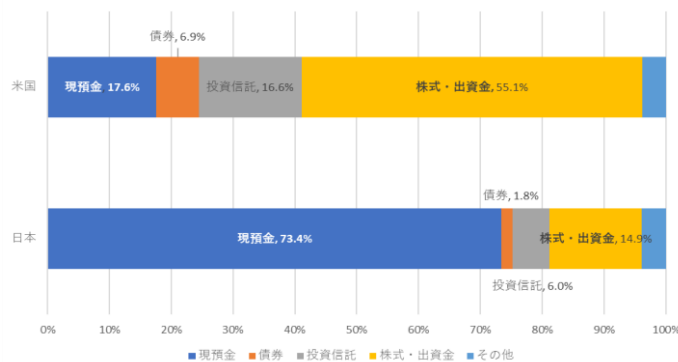
確かに過去20年と比べると大幅な円安水準ではありますが、その間に海外の新興国は生活水準が大きく上昇し、ハイテク製品・食料・エネルギーなどをより多く必要としています。日本はこうした製品を輸入に頼る必要があり貿易収支の赤字が膨らみがちです。この構造要因も円安水準を支えると考えます。(居林 通)

日本の貿易収支(24年は5月まで)



単位10億

米国と日本の金融資産の構成



(日米の金融資産構成は2023年12月末現在)

(出所) Bloomberg、日本銀行資金循環統計のデータを基に、金融資産構成は保険・年金・定型保証等を除いた上で、なかのアセットマネジメントが作成

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。






## ●運用チームのご紹介

| 氏名  | 役職<br>性格診断                            | コメント  |
|---|---------------------------------------|---|
| <br>中野 晴啓   | 代表取締役社長<br>最高投資責任者<br>(CIO)           | いよいよ運用チームがフルメンバー揃いました！正直こんなにも楽しい雰囲気です。各人がリサーチの成果を披露し合っていて、それにみんなでワクワクしているチームは初めてで、前職でなかなか実現出来なかった、既存業界の常識へのアンチテーゼに立脚した自由闊達で大胆かつ繊細な社風の「なかのアセット」が、早くも醸成され始めています。殊に若手の伸びしろが著しく、ベテラン勢とのペアリングも絶妙に機能しているようです。皆さまからの信頼の礎は透明性！とことん顔が見える運用会社の姿をどんどんブラッシュアップさせてまいります！   |
|   | ENFP-T(運動家)                           |   |
| <br>山本 潤    | 運用部長<br>兼<br>チーフポートフォリオ<br>オマネジャー     | MBTI診断ではESFJ型、領事型でした。診断によれば社会的で人に思いやりをもって接して、チームワークを大切にする、人と協力して目標を達成することを重視するタイプだそうです。愛とリスペクトをモットーにした組織運営を心掛けていますので診断結果は多少は当たっているのではと思いました。他者に対して寛容でありたい人間です。さて、なかのアセットのnoteでは「クオリティ・グロース入門」で連載コラムを書いています。コラムでは、エンゲージメントとは何か、とか、クオリティ・グロースとは何か、について書いています。ご一読いただければ幸いです。趣味は、モダンジャズピアノです。11月に仲間とコンサートを開く予定です。毎日わずかな時間ですがしっかりと練習をしています。大学数学の教科書の読み進めも日課にしています。 |
|   | MBTI診断はESFJ型(領事)でした。                  |   |
| <br>居林 通  | 運用副部長<br>兼<br>シニアポートフォリオ<br>オマネジャー    | 株式市場を見て30年以上が経ちますが、実に様々な局面を経験してきました。その経験をチームのみならず、お客様にも還元させていただきたく、「晴れ、時々台風」というコラムをHP上で公開しております。ご一読いただけますと幸いです。   |
|   | 本人曰く、宇宙人。分類されるのは嫌い！                   |   |
| <br>菅 淑郎  | シニアポートフォリオ<br>オマネジャー<br>兼<br>シニアアナリスト | 卓球ファンです。1月の全日本。東京体育館で実施されれば出向いて、10年近く、現在の女子チャンピオン早田ひなを応援しています。卓球競技は育成年代から、ホカバといって、ホープス、カブ、バンビの部から全日本選手権まで開催されます。ホカバの時代から強いまま、シニアでも活躍するのが割と当たり前。人気の高い平野美宇や金メダリストの伊藤美誠も。その伊藤がダブルス・パートナーに指名し、名実ともに彼女たちを追いこした日本女子のエースが早田ひな。早田が伊藤を破った中学生の全国大会決勝は一つの転機だったようです。真摯に競技に向かい合うアスリートはその言動から考え方もしっかりしていて、尊敬しかありません。実は彼女、本来右利きです。強い中国女子に立ち向かう7月下旬からのパリ五輪が楽しみです。             |
|   | MBTI診断はINFJ型でした。                      |   |
| <br>佐藤 栄二 | ポートフォリオオマネジャー<br>兼<br>シニアアナリスト        | 7月から加入した佐藤と申します。これまで運用会社等で調査・運用の経験を約13年積んでまいりました。私は前向きに取り組む「人の可能性」を信じており、企業調査や投資判断においても「経営者の覚悟」と「組織カルチャーの強さ」が大切な拠りどころです。私自身、大好きな運用の仕事で、その志に100%共感できるなかのアセットに参画できたことは、仕事人としてこの上なく幸せなことと実感しており、まさにこれから「人の持つ無限の可能性」を体現していきたいと考えています。なかのアセットには加わったばかりですが、人間的魅力に溢れたメンバーばかりで、そんなところも皆様にご存知いただければと思います。私たちの想いに共感いただけるステークホルダーの皆様とともに、日本一素敵な運用会社を目指して全身全霊で取り組んでまいります。 |
|   | ENTJ(指揮官)                             |   |

次のページへ続く→



## ●運用チームのご紹介

| 氏名  | 役職<br>性格診断              | コメント   |
|---|-------------------------|--|
| <br>大月 天道   | シニアアナリスト                | 今、欧州で最も熱い戦いであるサッカーEURO2024が開催されています。皆さんはどこが優勝すると思いますか？私は、本命フランス、次点でドイツかスペインだと思っています。ただ、個人的にずっと応援しているのはAzzurri(イタリア代表)です。2000年代に比べれば華やかなタレントはいないかもしれませんが、FWのChiesa、MFのBarella、DFのCalafioriなど各ポジションに若い才能がそろっています。注目株はMFのFagioriです。彼は大変残念なことに、昨シーズンをギャンブル依存症により棒に振ってしまい、1年間試合に出ることができませんでした。一方で、コンディショニング的にはフレッシュな状態で大会に臨んでいます。23歳とまだまだ若い選手ですが、空間認知能力にたけているだけでなく、中～長距離のパス精度も熟練の域といっても差し支えないと思います。シンプルに見ていて楽しい選手なので出場した際はぜひ注目してみてください。Forza Azzurri！ |
|   | ENTP(討論者)               |  |
| <br>谷 亜矢野   | アナリスト                   | 皆さまいつもありがとうございます。今回は、習い事のキックボクシングについてお話しします。始めたきっかけは仕事の忙しさでした。毎日全力で業務に取り組んだ結果、帰宅後はソファから起き上がる気力もなく、家事を夫に任せきりの日々が続いていました。そこで、体力強化と気分転換を目的にキックボクシングを始めることにしたのです。習い始めて早くも2ヶ月が経とうとしていますが、体力の向上を実感するとともに、予想外の副次効果を2つ発見しました。1つ目は、仕事が可愛らしく思えるほどの極限を味わえることです。2つ目は、キックボクシングという競技が私の性格に非常にフィットしていたことです。日々のフラストレーションを発散できる貴重な機会となっています。今後はさらに高レベルのレッスンに挑戦し、メンタルも体力も鍛えたいです。   |
|   | ENTP(討論者)、<br>ENFP(運動家) |  |
| <br>関口 耕大 | アナリスト                   | 自分の趣味を書きましょう！と言われても、何も持ち合わせていないんだけどなあ、と当惑するのがMBTI診断でINTP型に属する人間の一習性であり、実際この稿を埋めるにあたっては何時間かのたうち回る程の悩みようでした。事程左様に、あれはなぜだろうか、ああでもないこうでもない、と日々調べ考え続けることが私の自然体です。噛み応えあるホルモンのように、咀嚼の種となる新たな刺激を得るべく、休みが取れば観光地化されていない土地で気の赴くままに放浪します。ヨーロッパへの留学中の旅行では、コンボやモロッコなどある種混沌とした地域で触れた生の感覚が最も心に残っていますし、3月に新疆ウイグル自治区へ行った卒業旅行では、時にジェスチャーや筆談で語らいつつ、人々とその生活の来し方行く末に思いを馳せることとなりました。  |
|   | INTP(論理学者)              |  |

皆さまはMBTI診断をご存知でしょうか。性格を16分割したもので、アルファベット4文字で性格の傾向を表します。アルファベット一文字目は外向型(E)か内向型(I)、二文字目は感覚型(S)か直感型(N)、三文字目は思考型(T)か感情型(F)、四文字目は判断型(J)か知覚型(P)を表しています。インターネットで「MBTI診断」と検索すると、皆さまご自身の性格もお調べ頂けます。運用部メンバーのMBTI・趣味等に関するコメントをご覧頂き、どのような性格の人間が運用しているのか、想像を膨らませつつ楽しんで頂けますと幸いです。(谷 亜矢野)

follow me!

各公式SNSで情報を発信しています！



YouTube no+e





## ●6月15日東京で運用部勉強会を行いました！



6月15日(土)FinGateKAYABA(東京)で運用部メンバーによる勉強会を行いました！

午前、午後と2部制開催でしたがどちらも満員御礼でした。当社の運用のことをより知っていただきたく「クオリティ・グロースとは？」「アクティブシェアとは？」等、当ファンドの運用方針やマンスリーレポートに出てくる言葉の解説等行いました。

今回は「マンスリー運用報告会」と題して7月14日(日)10:00～12:00に東京で行います♪

また、宇都宮、名古屋、静岡、函館、札幌などでも弊社セミナーを開催しておりますので、お近くの方は是非ご参加ください！皆さまのお越しをおまちしております！（秋元 祐毅）



セミナー情報はコチラ⇒

### アクティブシェアについて

アクティブシェアとは、ファンドが保有する銘柄・割合と、参考指標が保有する銘柄・割合が、どの程度異なるのかを示す指標です。

参考指標が保有する銘柄を全く保有していない場合、ファンドのアクティブシェアは100%。参考指標と全く同じ銘柄を、全く同じ比率で保有する場合はファンドのアクティブシェアは0%となります。つまりアクティブシェアが高いほど、参考指標と比べて別の銘柄、保有比率になっているということです。

アクティブファンドへの投資を検討する際は「アクティブシェアがどのくらいなのか？」にぜひ注目して下さい。なかの世界成長ファンドの5月末時点でのアクティブシェアは推定で約79%となっています。これはファンドが参考指標よりもかなり絞り込んだ厳選投資を行っていることを意味しています。参考指標の成績に勝つためにも、高いアクティブシェアが必須となると考えています。

アクティブシェアについてより詳しい解説をnote、YouTubにて配信中です。ぜひご覧ください。（谷 亜矢野）



解説はコチラ⇒

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。





## ●ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

### ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

### ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

### 分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## ●投資リスク

### 基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

#### ● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### ● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### ● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

#### ● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### ● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



### 収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

### その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

### リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

## ● 手続・手数料等

### お申込みメモ

|      |  |
|------|--|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。<br>※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。   |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。  |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位とします。<br>※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。   |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。  |
| 信託期間 | 無期限(2024年4月25日設定)  |
| 繰上償還 | 委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。</li><li>信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。</li><li>やむを得ない事情が発生したとき。</li></ul>   |
| 決算日  | 原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日)<br>第1決算日は2025年4月24日とします。   |
| 収益分配 | 原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。<br>※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。   |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none"><li>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。</li><li>当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</li><li>配当控除の適用はありません。</li><li>益金不算入制度は適用されません。</li></ul> |



## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | 当ファンド   | 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 <b>年率0.605%(税抜0.55%)</b> を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 |
|                  | 投資対象ファンド  | <b>年率0.4%~0.9%程度(税抜)</b> ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。  |
|                  | 実質的な負担  | <b>年率1.3%±0.2%程度(税込)</b> ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。  |
| その他の費用・<br>手数料   | 監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。<br>※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |  |

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

### ●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期                | 項目        | 税金  |
|-------------------|-----------|---|
| 分配時               | 所得税および地方税 | 配当所得として課税<br>普通分配金に対して20.315%                 |
| 換金(解約)時<br>および償還時 | 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税<br>換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ●委託会社およびファンドの関係法人

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 委託会社<br>ファンドの運用の指図を行う者      | なかのアセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号<br>加入協会：一般社団法人投資信託協会<br>ホームページアドレス： <a href="https://nakano-am.co.jp/">https://nakano-am.co.jp/</a> |
| 受託会社<br>ファンドの財産の保管および管理を行う者 | 野村信託銀行株式会社   |

| 販売会社<br>ファンドの募集の取扱い等を行う者            | 登録番号                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
|-------------------------------------|--------------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 楽天証券株式会社                            | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 第一生命保険株式会社                          | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号   | ○       | ○                       |                         |                            |
| マネックス証券株式会社                         | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)   | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号   | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号    | ○       |                         | ○                       |                            |
| auカブコム証券株式会社                        | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 株式会社北國銀行                            | 登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号     | ○       |                         | ○                       |                            |

## ●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。